

Japan IT Security Strategies (Japanese Version)

AN IDC CONTINUOUS INTELLIGENCE SERVICE

インターネット利用が進む中、標的型サイバー攻撃や情報漏洩による被害が社会に深刻な影響を与えており、情報セキュリティ、コンプライアンス強化は喫緊の課題です。IDC Japan 年間情報提供サービス「Japan IT Security Strategies (Japanese Version)」では、情報セキュリティを実現する製品（ハードウェアおよびソフトウェア）およびサービス市場全体を調査対象とし、主に企業の情報セキュリティ対策動向に焦点をあてて調査／分析、予測を行います。また製品を目的別に分類し、詳細な市場、ベンダー動向／予測や技術的な将来の方向性についても情報を提供します。2022年は、データプライバシー管理など情報ガバナンス／コンプライアンス市場について調査を強化しています。

Markets and Subjects Analyzed

- セキュリティソフトウェア
- セキュリティハードウェア
- セキュリティサービス

Core Research

- 国内情報セキュリティ市場予測
- 国内情報セキュリティ市場 競合分析
- 国内サイバーセキュリティ市場予測
- 国内データプライバシー管理市場動向
- 国内情報セキュリティ市場 企業ユーザー動向調査：セキュリティ対策投資動向
- 国内情報ガバナンス／コンプライアンス市場動向
- 国内セキュリティサービス市場動向
- 国内パーベインセキュリティ動向
- IDC FutureScape: Worldwide Security and Trust 2022 Predictions - Japan Implications

上記リサーチは市場環境などの変化に応じて変更される可能性があります。発行レポートをご覧になりたい場合は以下 Web サイトをご参照ください。: [Japan IT Security Strategies \(Japanese Version\)](#).

Key Questions Answered

1. 国内企業の情報セキュリティ導入状況、また今後の導入についての方向性とベンダーに対する期待は？
2. 国内情報セキュリティ市場規模と今後の予測は？
3. 情報セキュリティにおける重要技術と、ベンダーが用意している製品は？
4. 情報セキュリティソリューションの導入実態と動向および市場規模は？
5. 国内情報セキュリティ市場での成長要因は何か？
6. 国内情報セキュリティ市場に必要なビジネス戦略とは？

Companies Analyzed

IDC では、次のベンダーの企業戦略、競合状況などの比較／分析を行います（アルファベット順、50音順）。

ALSI、Broadcom、Canon、Digital Arts、IBM、Micro Focus、NEC、OpenText、ウェブセンス、シスコシステムズ、ジュニパーネットワークス、チェックポイントソフトウェア、トレンドマイクロ、日本ヒューレット・パッカード、日立製作所、フォーティネット、富士通、マカフィー、その他